

邙山^{ぼうざん}
(沈佺期^{しんせんき})

北邙山上列墳塋
萬古千秋封洛城
城中日夕歌鐘起
山上惟聞松柏聲

北邙^{ほくほう}
山上^{さんじょう}
墳塋^{ふんえい}を
列^{つら}ぬ

萬古^{ばんこ}
千秋^{せんしゅう}
洛城^{らくじょう}に
對^{たい}す

城中^{じょうちゆう}
日夕^{にっせき}
歌鐘^{かしよう}
起^{おこ}る

山上^{さんじょう}
惟^{ただ}
聞^きく
松柏^{しょうはく}の
聲^{こえ}

解説 邙山は北邙山のこと。河南府城（洛陽）の北十里のところにある。墳墓の地で、日本でいえば鳥部山のような所である。

語釈 ※邙山Ⅱ洛北の北邙山は黄土でできた平坦な山で、後漢以後、洛中の墳墓の地であつた。※墳塋Ⅱ墳は土をまるくもりあげた土饅頭。

※萬古千秋Ⅱ永遠にの意。※日夕Ⅱ夕ぐれ。※歌鐘Ⅱ歌と伴奏の鐘。城中の宴樂のさまをこの二字に象徴した。※松柏Ⅱ松と柏びやくしん（ヒノキ科の針葉樹）いずれも、墓地に多く植えられる。

通釈 北邙山の上には、墳墓がたくさん並んでいる。それは永遠に、洛陽の町と向き合っている。町の中では夕方になると、歌舞や鐘鼓の音にぎやかに響いてくるが、山上からは荒涼たる松柏の声だけが聞こえてくる。